

科目名	デザインプロセス論演習 [インテリア] (卒業必修)				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	柴崎 恭秀				
内容および計画	インテリア・建築デザインを理解する上で必要な実践的演習をデザインプロセス論(インテリア)の講義と連携して行う。室内計画の一部となる収納や家具、または屋外空間に設置するベンチ等のデザインを実際に行い、さらに製作も各自で行う。材料の特性や有効利用(歩留まり等)を考慮しながら、機能性とデザイン性、耐久性等に配慮してデザインを進め、制作では建築の基礎的な構成を理解するために仕口や部材の取り合い等にも触れていく。材料への理解、構造や構成、工程に配慮しながら作業を進めて作品を完成させるプロセスを実践を通して学んでいく。				
1	ガイダンス・課題説明				
2	デザインテーマの発見と発想、デザインの調査・分析				
3	プランニング (アイデア展開、エスキース、スケッチ)				
4	プランニングと模型によるデザインチェック(模型の作成)				
5	プランニングのまとめと作図(図面の作成)				
6	模型・図面のチェックバック				
7	中間発表(模型と図面を完成させ、製作段階に入るチェックを行う)				
8	モデリング・作品制作①材料計画(板取り等)				
9	モデリング・作品制作②構成材の加工				
10	モデリング・作品制作③各部材の加工				
11	モデリング・作品制作④接着・接合等				
12	モデリング・作品制作⑤接着・接合等				
13	モデリング・作品制作⑥仕上げ・塗装等				
14	モデリング・作品制作⑦仕上げ・塗装等				
15	最終講評会(完成した作品をプレゼンテーションし、フィードバックを行う)				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
適宜資料を配付する					
参考書	1) 宮宇地一彦 『デザイン脳を開く・建築の発想法』 彰国社 2) 宮後浩 『インテリアプレゼンテーション』 学芸出版社 3) 宮脇檀住宅設計塾 『眼を養い手を練れ』 彰国社 4) 井上昇 『椅子-The Book of Chair-人間工学・製図・意匠登録まで』 建築資料研究社 5) グループモノ・モノ 『杉でつくる家具』 グラフィック社				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	課題の提出状況(創造性、展開性、統合性等)				50
	提出作品				30
	出席・受講状況				20

学習到達目標	課題を通してインテリア・建築デザインの思考プロセス及びデザイン行為の考え方・進め方をデザインプロセス論（インテリア）とともに学び身につける。
先修条件	なし
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として25年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	必須・選択の別:必修